

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	伊藤 三千雄	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(健康科学)	
学位授与番号	甲第135号	
学位授与日付	平成27年3月13日	
学位授与の要件	学位規程第3条第3項該当	
論文題目	在宅患者における短時間通所リハビリテーションの効果 および有効性の検討	
審査委員	教授 長尾 光城	教授 長尾 憲樹
	教授 松枝 秀二	

博士論文内容の要旨

本論文は維持期リハビリテーションにおける問題点、患者のみならず介護者の体力や精神の問題についてどのように改善していくかについて取り組んだものである。そこで短時間通所リハビリテーションに運動指導士が入りプログラムを作成した。このプログラムが維持期における在宅患者の身体機能の改善に有効であることを示した。さらに短時間通所リハビリテーションの効果をあげている要因として家族の存在、家族の運動習慣が関与していることを明らかにした。在宅患者の身体機能の改善のみならず、その家族も一緒に運動することで精神面の改善に有効であることが示唆された。

博士論文審査結果の要旨

障害を持った高齢者のリハビリは社会問題となって久しい。本研究は維持期リハビリテーションにおける健康運動指導士の役割を明確にし、維持期の短時間通所リハビリのあり方を問う論文である。運動指導士が入り、筋力トレーニング、ストレッチを飽きさせず、効果的におこなえるプログラムを提供することで、まだ在宅患者の身体機能が改善することを示したことは新たな取り組みである。また介護者、主に家族も一緒に運動することが、両者の精神面での改善を見た。審査員3名により審査、合議の結果、これらの研究成果は、これからの在宅患者にとって朗報となり、高い学術価値を有するものと認められた。本論文は、博士(健康科学)の学位論文として評価しうると判定された。